

2018 AUTOBACS SUPER GT Round4 Chang SUPER GT RACE

#10 GAINER TANAX triple a GT-R
KAZUKI HOSHINO／HIROKI YOSHIDA

ブースト圧のオーバーシュートにより予選3位から最後尾へ！
決勝追い上げるも、他車との接触による
エンジントラブルでノーポイントに終わる。



予選:23位／決勝:DNF

予選日観客数:9,417人／決勝日観客数:29,636人

TANIX

triple a

WORK

YOKOHAMA

TONE

LIGHT AUTO 1

DRUG STORE Live

PENALTY

KTI

JAPAN OIL SERVICE

PIWORK

NC200 NC81

MOTUL

GP

ÖHLINS

Fireflex

monocolle

ODYSSEY

WPC

PIAA

Kumaki

PERFORMANCE PRODUCTS

GT-R

Magazine

BLACK FLYS

2018年6月30日(土曜日)

公式練習 (P9)10:00~11:45

天候:晴 : コース:ドライ 気温/路面温度:30度/38度

公式予選1回目 (P11) 15:00~15:15

天候:晴: コース:ウエット~ドライ 気温/路面温度: 29度/35度

公式予選2回目 (P3→P23) 15:45~16:55

天候:晴: コース:ドライ 気温/路面温度: 26度/33度

SUPER GT唯一の海外戦が行われる、Thai Chang International circuit。今までにここで4回開催されてる内、半分の2回を優勝で飾っているGT-R。15年には10号車も2位を獲得している。GT-Rにとって、相性の良いサーキットです。

日本がそれほど夏日になることがないまま、訪れた灼熱のThai。しかし、意外にもChang International circuit は風の通りもよく、33度ほどと、日差しの下に居なければ、比較的過ごしやすい。走り出しは星野一樹から。走り出しのマシンバランス悪くなく、すぐに吉田広樹と交代。

計測7周で、再び星野へ。2種類のタイヤ比較を行い、占有時間になり吉田と交代。

このセッションは、9番手で終了した。午後からの予選は、Q1を星野が担当する。しかし突然の激しいスコールで15分間ディレイ。

15時15分から予選が開始。路面はウエットで、雨は降っておらず、徐々に路面は回復。



しかしQ1はウエットタイヤでアタックを開始する。他のマシンがピットを離れ、ほぼ最後にアタックを開始する。計測2周目に1分45秒173のタイムを計測。次周にタイヤをNewに代えてアタックするためにピットへ。

再びコースに入り、1周毎にタイムを更新。ラスト計測で、1分43秒447のタイムを出し、11番手でQ2に進出を決めた。

500クラスのQ1が終わり、路面もほぼドライになり、吉田もドライタイヤでのアタックを開始する。

計測3周目に、1分32秒912で暫定トップ。続いてのアタックでは、最終コーナーでミスがあり、惜しくも更新できず、ラストアタックに吉田も神経をとぎすます。セクター1、2を自己ベストで走行し、1分32秒731のタイムで暫定3位。しかし、予選後の再車検で、ブースト圧のオーバーシュートにより、最後尾からのスタートとなりました。

TANIX

triple a

WORK

YOKOHAMA

TONE

LIGHT AUTO 1

DRUG STORE Live

PENALTY

KTI

JAPAN OIL SERVICE

PITWORK

NC200 NC81

MOTUL

GP

ÖHLINS

Fireflex

monocolle

ODYSSEY

WPC

PIAA

Kumon



GT-R Magazine

BLACK FLYS

星野一樹ドライバーコメント

フリーからドライの調子が良いのは分かっていましたが…ウェットでのQ1になり、ぶっつけの予選になりました。なんとか11位で通過し、吉田のQ2へ繋げたので良かったです。Q2でのアタックは素晴らしかったし、3位のタイムでしたが、…エンジンの制御系の規則違反により最後尾グリットとなっしまい、ほんとうに残念な予選でした。

吉田広樹ドライバーコメント

今回は走り始めからマシンのバランスもどんどんよくなり、予選では上位を狙える自信がありました。予選直前に降りだした雨により、一樹さんが担当してくれたQ1はとても難しいWETコンディションになりましたが、ミスなくキッチリQ2へ繋いで貰えました。Q2で私が走る頃にはドライコンディションになったので、ポールを目指して思いっきりアタックした結果、3番手のタイムを記録する事が出来ました。しかし予選後の車検の結果、タイムが抹消されることになり、最後尾からスタートすることになりました。速さに繋がる部分の違反ではなかったので、悔しさや歯痒さが残る予選となってしまいました。



TANXX

triple a

WORK

YOKOHAMA

TONE

LIGHT AUTO 1

DRUG STORE Live
PENALTY

KTI

JAPAN OIL SERVICE

PITWORK
NC200 NC81

MOTUL

GP

ÖHLINS

Fireflex

monocolle

ODYSSEY
WPC

PIAA

Kumaki
PERFORMANCE PRODUCTSGT-R
Magazine

BLACK FLYS

2018年7月1日(日曜日)

決勝 (DNF)15:20～天候:晴 / コース:ドライ 気温/路面温度:開始32度/47度、終盤29度/44度

タイに入ってから、毎日の様に午後にはスコールが降っていたが、今日のスタート前はそのような雲が無く、熱いレースを予想させた。

決勝前のサーキットサファリでは、10号車がトップ、11号車は2番手のリザルド。ウォームアップ走行でも、11号車、10号車と2番手、3番手で、決勝に期待の持てる結果になった。

スタートドライバーは、星野。最後尾からの追い上げに期待が掛かる。

フォーメーションラップ1周の後、スタートが切られた。

星野は2周目に18番手、4周目には17番手まで、確実にポジションを上げていく。前を走るのは、ポールポジションを獲得しながら、車両規則違反で22番手のポジションからスタートした、88号車HURACAN。ストレートが速いため、なかなか抜くタイミングが掴めない。



88号車と同じ様に前車をパスし、9周目には14番手、10周目には13番手、12周目には12番手まで、驚異に速さで上位に食らいついていく。19周目の1コーナー立ち上がりで、61号車BRZに接触してしまう。車両に損傷は無いように思われた。

22周目には、10番手のポイント圏内までポジションを上げるが、先ほどの接触により、ラジエターを破損してしまっていたようで、そのままエンジンブローをおこし、コースサイドにマシンを止めることになった。

今回得意なコースで、上位進出も确实視されていたが、運気をたぐり寄せることが出来ず、リタイヤとなった。

次戦の富士500マイルでは、今回の不運と、前半戦の雪辱を晴らすため、再度気合いを入れ直して臨みます。

TANAX

triple a

WORK

YOKOHAMA

TONE

LIGHT AUTO 1

DRUG STORE Live

PENALTY

KTI

JAPAN OIL SERVICE

PITWORK

NC200 NC81

MOTUL

GP

OHLINS

Fireflex

monocolle

ODYSSEY

WPC

PIAA

Kumon



GT-R Magazine

BLACK FLYS

星野一樹ドライバーコメント

最後尾スタートからなんとか追い上げ、10位までいきましたが、他車との接触の影響でトラブルを引き起こしてしまい、リタイアとなりました。

速さは勝てるレベルまであった週末だっただけに、本当に残念でありませんが、車もタイヤも調子が上がってきているので、次のチャンスは必ずモノにしたいと思います！

チームと吉田と全力で頑張ります！

吉田広樹ドライバーコメント

最後尾の23位からスタートすることになったレースですが、僕たちドライバーはもちろんチームも気持ちを切り替え、ひとつでも前に行けるようベストな作戦を考えて挑みました。

スタートを担当してくれた一樹さんがどんどん追い上げてくれて10位までポジションアップ。

そして自分にドライバー交代をしようとした直前にエンジンに異常が発生し、ピットに戻ることが出来ずリタイアとなってしまいました。

リタイアという結果はとても残念で悔しさも大きいですが、今回はマシンのバランスも良く、タイヤもマッチし、速さがあったので、今後に繋がるレースになったのは間違いありません。

次戦富士こそ優勝出来るよう、チームみんなでベストを尽くします！！

藤井一三監督コメント

予選では、1度のブースト圧のオーバーシュートにより、最後尾からのスタートとなりました。

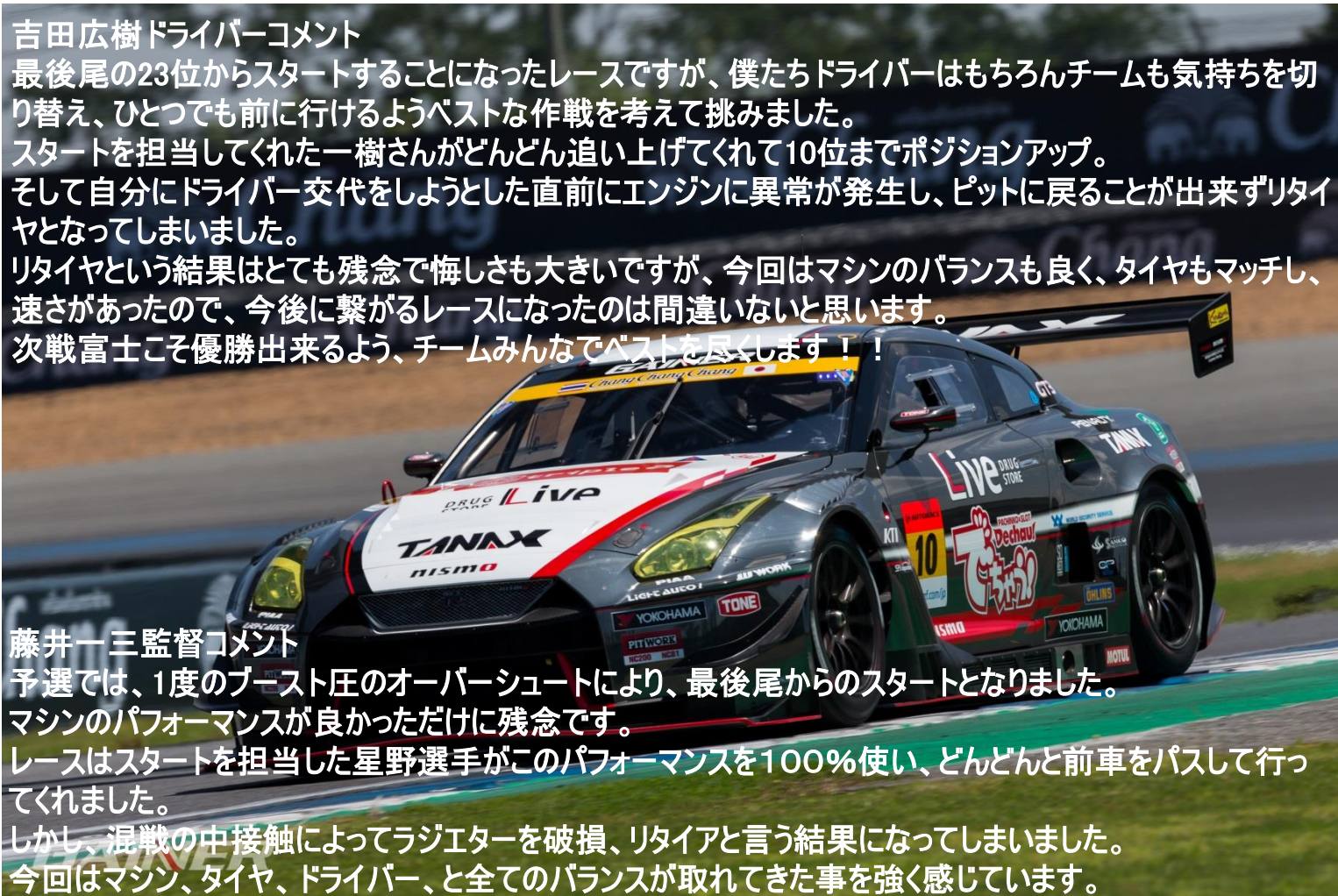
マシンのパフォーマンスが良かっただけに残念です。

レースはスタートを担当した星野選手がこのパフォーマンスを100%使い、どんどんと前車をパスして行ってくれました。

しかし、混戦の中接触によってラジエターを破損、リタイアと言う結果になってしまいました。

今回はマシン、タイヤ、ドライバー、と全てのバランスが取れてきた事を強く感じています。

次の富士大会、頑張りますので引き続き応援宜しくお願いします。



Driver Ranking GT300

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	11	平中 克幸 安田 裕信	6	11	0	20					37	-	74
2	31	嵯峨 宏紀 平手 晃平	0	15	2	15					32	-5	64
3	65	黒澤 治樹 蒲生 尚弥	8	8	4	9					29	-8	58
4	55	高木 真一 Sean Walkinshaw	5	21	0	0					26	-11	52
5	25	松井 孝允 山下 健太	11	0	15	0					26	-11	52
6	18	中山 友貴 小林 崇志	20	0	5	0					25	-12	50
7	7	藤井 誠暢 Sven Muller	15	5	0	3					23	-14	46
8	96	新田 守男 中山 雄一	0	0	21	1					22	-15	44
9	60	吉本 大樹 宮田 莉朋	0	4	6	11					21	-16	42
10	88	平峰 一貴	5	2	8	5					20	-17	40
11	0	谷口 信輝 片岡 龍也	3	6	3	4					16	-21	32
12	88	Marco Mapelli	5	2	8	-					15	-22	40
13	61	井口 卓人 山内 英輝	0	0	11	0					11	-26	22
14	87	佐藤 公哉 元嶋 佑弥	0	0	0	6					6	-31	12
15	88	Andrea Caldarelli	-	-	-	5					5	-32	40
16	34	道上 龍 大津 弘樹	0	3	0	2					5	-32	10
17	26	山田 真之亮 川端 伸太郎	2	0	0	-					2	-35	4
18	21	Richard Lyons 富田 竜一郎	0	1	0	0					1	-36	2
19	50	加納 政樹 安岡 秀徒	1	0	0	0					1	-36	2
20	10	星野 一樹 吉田 広樹	0	0	1	0					1	-36	2
決勝順位			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
ポイント			20	15	11	8	6	5	4	3	2	1	

※予選ポールポジション: 1pt

※レース距離が700km以上の場合のポイント

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt

TANIX

triple a

WORK

YOKOHAMA

TONE

LIGHT AUTO 1

DRUG STORE Live

PENALTY

KTI

JAPAN OIL SERVICE

PI WORK

NC200 NC81

MOTUL

GP

ÖHLINS

Fireflex

monocolle

ODYSSEY

WPC

PIAA

Kinokuni

PERFORMANCE PRODUCTS

GT-R

Magazine

BLACK FLYS

Team Ranking GT300

Po	No	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	
1	11	GAINER	9	14	3	23					49	-	
2	31	apr	0	18	5	18					41	-8	
3	65	K2 R&D LEON RACING	11	11	7	11					40	-9	
4	55	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	8	23	3	3					37	-12	
5	18	TEAM UPGARAGE	23	3	8	1					35	-14	
6	7	D'station Racing	18	8	3	6					35	-14	
7	96	K-tunes Racing LM corsa	3	3	23	4					33	-16	
8	25	つちやエンジニアリング	14	0	18	1					33	-16	
9	60	LM corsa	1	7	9	14					31	-18	
10	88	JLOC	7	5	11	8					31	-18	
11	0	GOODSMILE RACING &	6	9	6	7					28	-21	
12	87	JLOC	3	3	3	9					18	-31	
13	61	R&D SPORT	1	0	14	0					15	-34	
14	34	Modulo Drago CORSE	0	6	1	5					12	-37	
15	50	Arnage Racing	4	1	3	3					11	-38	
16	10	GAINER	3	3	4	0					10	-39	
17	9	PACIFIC with GULF RACING	3	3	3	1					10	-39	
18	26	Team TAISAN	5	3	1	-					9	-40	
19	52	埼玉トヨペット Green Brave	3	1	3	1					8	-41	
20	2	Cars Tokai Dream28	1	1	3	3					8	-41	
21	21	Audi Team Hototsuyama	0	4	3	0					7	-42	
22	777	CARGUY Racing	3	1	3	-					7	-42	
23	35	arto-Panther Team Thailand	1	1	3	1					6	-43	
24	30	apr	1	1	3	0					5	-44	
25	117	EIcars BENTLEY	1	1	3	-					5	-44	
26	48	DIJON Racing	1	1	3	-					5	-44	
27	5	TEAM MACH	0	3	0	-					3	-46	
28	22	R'Qs MOTOR SPORTS	1	1	1	-					3	-46	
29	360	TOMEI SPORTS	0	0	1	-					1	-48	
決勝順位			1位	2位	3位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント			20	15	11	11	8	6	5	4	3	2	1
トップと同一周回			1周遅れ				2周遅れ以上で完走						
3			3				1						

※レース距離が700km以上の場合のポイント

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt

TANIX

triple a

WORK

YOKOHAMA

TONE

Light AUTO 1

DRUG STORE Live

PENALTY

KTI

JAPAN OIL SERVICE

PI WORK

NC200 NC81

MOTUL

GP

ÖHLINS

Fireflex

monocolle

ODYSSEY

WPC

PIAA

Kinami

GT-R

Magazine

BLACK FLYS